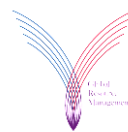


2018年度

2018年3月発行



大学院博士課程教育リーディングプログラム

「グローバル・リソース・マネジメント」

履修生特別奨励金 給付要項

【日本国籍保有者用】

< 注 意 >

日本国籍保有者ではない学生は、“GRM Grant Application Guidelines”を参照すること。

詳細：本要項の「II. ！重要！2019年度（2019年4月～）以降のGRM奨励金給付について」を参照すること。

同志社大学

# 目 次

I. <u>G R M奨励生制度の趣旨等</u> .....	3
1. 本制度の趣旨 .....	3
2. 給付対象者・給付額 .....	3
3. 給付期間 .....	3
4. G R M奨励生の義務 .....	4
5. 学習、研究上の不正行為 .....	4
6. プログラム活動に伴う旅費等の不正使用 .....	4
7. G R M奨励生の採用辞退等 .....	5
8. G R M奨励生のアウトリーチ活動の奨励 .....	5
9. 併給の禁止・他奨学金等の辞退の手続き .....	5
10. 採用期間中の報酬の受給 .....	6
11. 研究費の受給 .....	6
II. <u>！重要！ 2019年度（2019年4月～）以降のG R M奨励金給付について</u> .....	7
III. <u>採用期間中の遵守事項</u> .....	9
1. 遵守事項 .....	9
2. 採用の取消 .....	9
IV. <u>申請手続（採用・継続）・提出必要書類</u> .....	10
1. 申請手続・提出必要書類 .....	10
2. <u>！重要！</u> 採用・継続給付 .....	13

V. <u>給付手続</u> .....	13
1. 給付日.....	13
2. 振込先.....	13
3. 氏名の公表.....	13
VI. <u>G R M奨励生報告書（様式3）</u> .....	14
VII. <u>確定申告、納税</u> .....	14
VIII. <u>活動経費支援</u> .....	14
◆ 同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」 履修生特別奨励金規程 .....	15
◆ 同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」 履修生特別奨励金採用・継続基準 .....	17

以下の提出書類は以下のURLよりダウンロード

<http://grm.doshisha.ac.jp/index.html>

様式1：奨励生申請書

様式2：奨励生誓約書

様式3：奨励生報告書

銀行口座振込依頼書

## I. GRM奨励生制度の趣旨等

### 1. 本制度の趣旨

同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」履修生特別奨励金制度（以下：GRM奨励金）は、本プログラムを履修する学生のキャリア形成を支援することを目的とするものです。本学では、GRM奨励金の給付を受ける者を、同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」奨励生（以下：GRM奨励生）として採用します。GRM奨励生として採用された学生は、「グローバル・リソース・マネジメント」（以下：GRM）の修了及び博士学位の取得を目指して、必要な学習に専念しなければなりません。

### 2. 給付対象者・給付額

以下のとおり、GRM奨励金を支給します。（＝GRM奨励生）基幹・連携研究科に在籍していることが前提条件になりますので、給付時に学籍がなければ給付対象になりません。

※ GRM奨励生には、原則として、GRM奨励金の返還義務は課しません。GRM奨励金は雑所得として課税対象となります。

<～2019年3月>

- (1) GRMのプレミナリ試験（以下：PE）に合格し、GRMを履修する学生：毎月15万円
- (2) GRMのクオリファイング試験（以下：QE）に合格し、GRMを履修する学生：毎月20万円

<2019年4月～>（受給要件を満たす外国人留学生のみ）

- (1) GRMのプレミナリ試験（以下：PE）に合格し、GRMを履修する学生の内、外国人留学生：毎月7万円
- (2) GRMのクオリファイング試験（以下：QE）に合格し、GRMを履修する学生の内、外国人留学生：毎月14万円

※ 受給要件の詳細は「Ⅱ. ！重要！ 2019年度（2019年4月～）以降のGRM奨励金給付について」を参照してください。

### 3. 給付期間

- (1) PEに合格し、GRMを履修するGRM奨励生：

博士前期課程に在籍する期間の内、1年間を上限にGRM奨励金を給付します。博士前期課程の残りが在籍期間が半年となった時点でPEに合格した者の給付期間は修士学位取得までの間すなわち半年間で、学位の取得が延期になった場合でも最長1年間となります。

- (2) QEに合格し、GRMを履修するGRM奨励生：

博士後期課程に在籍する1年次から3年次の3年間を上限にGRM奨励金を給付します。博士後期課程の標準修業年限（3年）を越えて在籍する者にはGRM奨励金を給付しません。

### (3) 休学するGRM奨励生：

休学期間は、GRM奨励金の給付を休止し、当該休学期間はGRM奨励金の給付期間に算入しません。

#### < 注 意 >

- ① < 2019年4月～>の給付期間は「Ⅱ. ！重要！ 2019年度（2019年4月～）以降のGRM奨励金給付について」を参照してください。
- ② 博士前期課程または後期課程を退学した者等が当該研究科・専攻に再入学し、GRMの履修を認められた者については、上述の給付上限期間に達していない場合であっても、GRM奨励金は給付いたしません。

## 4. GRM奨励生の義務

GRM奨励生は以下2点の義務が課せられます。

### (1) プログラム専念義務

GRM奨励生は、休学等による給付休止の扱いを受ける場合を除き、GRMの修了及び博士学位の取得に専念しなければなりません。

### (2) 報告書の提出義務

GRM奨励生は、毎年度末（継続を希望する場合は、継続出願時まで）及びGRM奨励生の採用期間終了後速やかに「GRM奨励生報告書」（様式3）の提出が必要です。

（詳細：「Ⅵ. GRM奨励生報告書（様式3）」参照）

#### < 注 意 >

必要書類の提出がない・遅れた場合、GRM奨励金の支給が停止・中止される場合があります。

## 5. 学習、研究上の不正行為

学習、研究活動における不正行為は、人々による本プログラムへの信頼を揺るがし、我が国の高等教育の発展を妨げるものであって、決してあってはなりません。厳しい財政事情の中、**必ず**国費による奨励金の給付を受けているという強い自覚のもとに、本プログラムの活動に従事してください。

## 6. プログラム活動に伴う旅費等の不正使用

GRM奨励生は、プログラムの活動に伴う旅費等の不正使用を行ってはなりません。旅費に係る不正には、旅費の水増し請求や実態を伴わない旅費の請求があります。他の研究者が受けている研究費の不正使用に共謀した場合にも、不正使用とみなし、GRM奨励生としての採用を取消します。

## 7. G R M奨励生の採用辞退等

何らかの理由により、本学大学院博士前期または後期課程に在学しなくなる場合（休学による給付休止を除く。）は、G R M奨励生の採用を辞退してください。

## 8. G R M奨励生のアウトリーチ活動の奨励

本プログラムは文部科学省の支援を受けて実施しております。学習活動の成果を国民や社会に向けてわかりやすく発信することが、G R M奨励生に求められています。

G R M奨励生のアウトリーチ活動をプログラム担当者の了承の下、学習活動に支障のない範囲で積極的に行ってください。原則として無報酬で行ってください。

※ **アウトリーチ**：プログラムの内容や成果を社会に対して分かりやすく説明する活動

## 9. 併給の禁止・他奨学金等の辞退の手続き

採用期間中は、国内外を問わず、他のフェローシップ・奨学金等を受給することはできません。

以下の奨学金等の給付もしくは貸与を受けているG R M履修生は、辞退の手続（受給または借用する予定である場合もG R M奨励金の給付開始前に辞退してください（休止や留保等は不可））。或いはG R M奨励金の給付を受けずにG R Mのプログラムを履修することになります。

- (1) 日本学術振興会特別研究員（D C）の研究奨励金及び研究費
- (2) 日本学生支援機構大学院奨学金
- (3) 外国人留学生の日本政府（文部科学省）奨学金または日本学術振興会の学習奨励金
- (4) 外国政府関係機関からの奨学金
- (5) 同志社大学大学院奨学金及び同志社大学大学院特別奨学金
- (6) 専念義務が生じるその他奨学金、奨励金（母国の奨学金や日本学生支援機構の学習奨励金等）

※ 以上の奨学金等以外で給付を受けている者で、判断に迷う場合：必ず高等研究教育課事務室にご連絡ください。

## ＜ 注 意 ＞

- ・ 以上の (2) 或いは (5) より支援を受けている (受ける予定) の学生 :  
同志社大学) 学生生活課に申し出てください (学生証、印鑑持参)。
- ・ 以上の (1) (3) (4) (6) のいずれかより支援を受けている (受ける予定) の学生 :  
必ず事前に担当事務室にご相談ください。
- ・ **例外 :** 以下の授業料減免を目的とする奨学金は例外的にG R M奨励金との併給を認めています。
  - (a) 同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成奨学金
  - (b) 同志社大学大学院私費外国人留学生授業料減免特別奨学金
  - (c) 同志社大学私費外国人留学生授業料減免奨学金
  - (d) 同志社大学私費外国人留学生成績優秀者授業料減免奨学金

### 10. 採用期間中の報酬の受給

G R M奨励生としての採用期間中に報酬を受給することは、原則として禁止としますが、以下に挙げるものは例外的に認めています。

- (1) 学習、研究成果を公表することに伴い生じる著作権料等
- (2) 本学におけるティーチングアシスタント (T A)、リサーチアシスタント (R A) 及び留学生学習・研究支援チューターとしての活動 (ただし、当該活動が本プログラムの実施に不可欠な場合に限り、週当たり総時間数 5 時間までとする。)

### 11. 研究費の受給

G R M奨励生は、採用期間中にG R M奨励生としてのプログラムにおける課題が更に進展すると考えられる研究 (共同研究等への参画も含む。) を実施する場合などにおいて、他の機関から助成される研究費を受給することまたは助成を受けた研究者から研究費の配分を受けることが可能です。

## II. **！重要！ 2019年度（2019年4月～）以降のGRM奨励金給付について**

### **< 注 意 >**

< 2019年4月以降 > のGRM奨励金は以下の受給要件を全て満たす学生のみ支給されます。

#### **受給要件：**

- ① 同志社大学外国人留学生内規第2条第1項もしくは第2項に規定する「外国人留学生」に該当するもの
- ② < 2018年度までに > P E、或いはQ Eに出願の上、合格している学生

#### **< ～2019年3月 >**

- (1) GRMのプレミナリ試験（以下：P E）に合格し、GRMを履修する学生：毎月15万円
- (2) GRMのクオリファイング試験（以下：Q E）に合格し、GRMを履修する学生：毎月20万円

#### **< 2019年4月～ >（受給要件を満たす外国人留学生のみ）**

- (1) GRMのプレミナリ試験（以下：P E）に合格し、GRMを履修する学生の内、外国人留学生：毎月7万円
- (2) GRMのクオリファイング試験（以下：Q E）に合格し、GRMを履修する学生の内、外国人留学生：毎月14万円

※ < 2019年4月～ >（受給要件を満たす外国人留学生のみ）の対象学生の給付期間：

#### **① P Eに合格し、GRMを履修するGRM奨励生：**

博士前期課程に在籍する期間の内、1年間を上限にGRM奨励金を給付します。博士前期課程の残り在籍期間が半年となった時点でP Eに合格した者の給付期間は修士学位取得までの間すなわち半年間で、学位の取得が延期になった場合でも最長1年間となります。

※ < 2018年度までにP Eを合格した学生で > 後にQ Eを合格した博士後期課程の学生：

「IV. 申請手続（採用・継続）・提出必要書類」で明記されている必要手続を行った上で、GRM奨励生として採択された場合、以下②の給付期間で博士後期課程中もGRM奨励金を受給できます。

#### **② Q Eに合格し、GRMを履修するGRM奨励生：**

博士後期課程に在籍する1年次から3年次の3年間を上限にGRM奨励金を給付します。博士後期課程の標準修業年限（3年）を越えて在籍する者にはGRM奨励金を給付しません。

### ③ 休学するGRM奨励生：

休学期間は、GRM奨励金の給付を休止し、当該休学期間はGRM奨励金の給付期間に算入しません。

## ※ 補足：同志社大学外国人留学生内規第2条

同志社大学外国人留学生内規（改正 2017 年 10 月 1 日）より一部抜粋

第2条 「外国人留学生」とは、原則として外国の国籍を有する者で、「出入国管理及び難民認定法」別表第1に定める在留資格「留学」を取得し、本学に入学をしたものをいう。

2 前項に定める在留資格にかかわらず、次のいずれかに該当する入学資格を有し、特別の選考を経て本学に入学した者は、外国人留学生として取り扱う。

(3) 大学院博士課程の前期課程、修士課程、一貫制博士課程又は専門職学位課程

イ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者

ロ 日本において外国人留学生として大学を卒業した者

ハ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を得た者

ニ 日本において外国人留学生として大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者

ホ その他本大学院において前記イ、ロ、ハ、ニと同等以上の資格を有すると認めた者で、22歳に達したものの

(4) 大学院博士課程の後期課程又は一貫制博士課程の第3年次転入学

イ 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得た者

ロ 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位又は専門職学位を得た者

ハ その他本大学院において前記イ、ロと同等以上の資格を有すると認めた者で、24歳に達したもの

### III. 採用期間中の遵守事項

#### 1. 遵守事項

G R M奨励生は、その採用期間中、次に掲げる事項を遵守しなければなりません。なお、以下の事項に違反したと本学が判断するときは、G R M奨励生の採用を取り消すとともに、支給済みのG R M奨励金の返還を求める場合があります。

- (1) 同志社大学大学院博士課程学生以外の専任の職・身分を持たないこと。
- (2) G R Mの修了及び博士学位の取得を目指して、必要な学習活動に専念すること。
- (3) G R M奨励生報告書の提出義務を遂行すること。
- (4) 学習・研究上の不正行為を行わないこと。
- (5) G R Mにより支援される旅費等の諸経費を不正に使用しないこと。
- (6) G R M履修生特別奨励金 給付要項に定める場合を除く、他の奨学金、フェローシップ等を受けないこと。
- (7) G R M履修生特別奨励金 給付要項に定める場合を除く、アルバイト等を含む就業の禁止を守ること。
- (8) その他、大学院学則の規程等に反する行為を行わないこと。

#### 2. 採用の取消

G R M奨励生が、以下のいずれかに該当すると本学が認めた場合は、本学はG R M奨励生の採用を取り消すことができます。

- (1) 病気等のために、長期間にわたり学習・研究を継続できないことが明らかな場合
  - (2) 学習・研究の進捗状況に著しい問題があり、所期の目的（G R Mの修了及び博士学位の取得）を達成できない場合
  - (3) 提出すべき書類が、期限内に提出されなかった場合
  - (4) 申請書類の記載事項に重大な虚偽が発見された場合
  - (5) その他、G R M奨励生としてふさわしくない行為をなしたことが明らかになった場合
-

## IV. 申請手続（採用・継続）・提出必要書類

### 1. 申請手続・提出必要書類

以下のとおり、申請期間は毎年2回です。日程は後述の日程表のとおりです。変更が生じた場合、改めて以下のGRMのホームページで周知します。必ず申請前に最新版の申請日程をご確認ください。

GRMホームページ：<http://grm.doshisha.ac.jp/index.html>

GRM奨励金を希望する学生は、提出期限までに必要書類を所属研究科事務室に提出してください。

給付期間の上限に達していない場合も、年度（3月31日）を越える場合は、その都度、給付継続申請の手続が必要です。継続給付を希望する場合は、申請書類を期限までに提出してください。

PEまたはQEの出願時にGRM奨励金を申請した場合、PEまたはQEに合格しなければ、GRM奨励金の申請は無効となります。

### < 注 意 >

PE・QEに申請する場合は、出願書類とともに奨励金申請書類を所属研究科事務室に提出してください。

### < 提出必要書類：提出先 >

所属研究科事務室

### < 提出必要書類・手続きの流れ・提出期限 >

#### 以下手続日程表参照

※ 提出必要書類について、以下のGRMのホームページでダウンロード、データでご記入の上、提出してください。（自署が必須の箇所以外はデータで記入必須）

GRMホームページ：<http://grm.doshisha.ac.jp/index.html>

(1) 申請時期：2018年度春学期（＝2018年10月給付開始）

2018年	新 規 申 請	
	PE受験者及び 未受給の前期課程学生	QE受験者及び 未受給の後期課程学生
5月21日（月） ～5月25日（金）	<u>（PE受験者は出願書類とともに）以下を提出</u> （様式1）GRM奨励生申請書・（様式2）GRM奨励生誓約書	
6月 3日（日）	PE試験日	
6月 8日（金）	PE合格者発表 不合格の場合は、奨励生の申請は無効となります。	
6月11日（月） ～6月15日（金）	<u>（QE受験者は出願書類とともに）以下を提出</u> （様式1）GRM奨励生申請書・（様式2）GRM奨励生誓約書	
7月 1日（日）	QE試験日	
7月 6日（金）	QE合格者発表 不合格の場合は、奨励生の申請は無効となります。	
7月19日（木）	大学内審議	
7月23日（月）	奨励生（新規）採否決定通知	
10月5日（金）	給 付 開 始	

< 注 意 >

春学期のみ休学しており、秋学期に復帰するGRM履修生のGRM奨励金の継続申請について：  
以上の日程の（様式1）と同じ提出期間に以下の書類を所属研究科事務室に提出すること。  
提出必要書類：（様式1）GRM奨励生申請書、（様式3）GRM奨励生報告書

(2) 提出期限：2018年9月給付終了者の奨励生報告書

2018年	給 付 終 了 者	
	GRM履修生 （前期課程）	GRM履修生 （後期課程で10月以降受給しない学生）
7月17日（火） ～7月19日（木）	<u>以下を提出</u> （様式3）GRM奨励生報告書	

(3) 申請時期：2018年度秋学期（2019年4月給付開始）

※ 「II.！重要！ 2019年度（2019年4月～）以降のGRM奨励金給付について」の受給要件を満たす学生のみ

2019年	新 規 申 請		継 続 申 請
	PE受験者及び 未受給の前期課程学生	QE受験者及び 未受給の後期課程学生	GRM履修生 (後期課程のみ)
2月 4日 (月) ～2月 8日 (金)	<u>(PE・QE受験者は出願書類とともに) 以下を提出</u> (様式1) GRM奨励生申請書 (様式2) GRM奨励生誓約書		<u>以下を提出</u> (様式1) GRM奨励生 申請書 (様式3) GRM奨励生 報告書
2月24日 (日)	PE・QE試験日		
2月27日 (水)	PE・QE合格者発表 不合格の場合は、奨励生の申請は無効となります。		
3月 7日 (木)	大学内審議		
3月11日 (月)	奨励生（新規）採否決定通知		(継続) 採否決定通知
4月 5日 (金)	給 付 開 始		

(4) 提出期限：2019年3月給付終了者の奨励生報告書

2019年	給 付 終 了 者	
	GRM履修生 (前期課程)	GRM履修生 (後期課程で4月以降受給しない学生)
1月15日 (火) ～1月17日 (木)	<u>以下を提出</u> (様式3) GRM奨励生報告書	

## 2. **！重要！** 採用・継続給付

G R M奨励生の採用（含 継続採用）の可否は、同志社大学内の機関決定手続を経て決定します。

### ・ G R M奨励生の決定前に他の奨学金等の経費支援の申請を行う場合：

G R M奨励金は、「I－09. 併給の禁止・辞退の手続き」に記載のとおり、他のフェローシップ・奨学金等と併給はできません。他の奨学金の締切日が、G R M奨励生の受給決定以前に設定されている場合は、必要に応じて申込みの手続を取り、G R M奨励生として採用された後に必ず申込みを辞退する手続を取ってください。

### < 注 意 >

G R M奨励生としての採用通知を受けるまでは、G R M奨学金の受給が確約されるものではありません。受給中の奨学金がある方は、G R M奨励生としての採用通知を受けた後に、受給中の奨学金の辞退等の手続を取ってください。またG R M奨励生に不採用となることも想定し、他の奨学金の採用手続を並行で取られることをお勧めします。

本学の基幹または連携研究科・専攻に在籍しているという条件を満たさない場合、奨励生として採用はされません。

## V. 給付手続

### 1. 給付日

G R M奨励金は、毎月5日に提出書類に明記した金融機関口座への振込により給付します。ただし、5日が休日や銀行休業日または本学休業日等の場合は、前日の営業日の振込となります〔1月と5月は、6日以後になります〕。また、採用開始月の給付については、大学内の審議手続により、ずれ込むことがあります（給付日が遅れても、給付対象月は就業の禁止など遵守事項が適用されます）。

### 2. 振込先

振込先は日本国内の銀行または信用金庫に限ります。振込先口座名は、**必ず**本人名義としてください。

### 3. 氏名の公表

G R M奨励金の給付を受ける学生は、文部科学省の定めにより、所属、氏名を本学のホームページにて公表します。

## VI. GRM奨励生報告書（様式3）

GRM奨励生は、毎年度末及びGRM奨励生の期間終了時に「GRM奨励生報告書（様式3）」を必ず提出期限までに提出してください。

書類を提出しなかった場合は、GRM奨励生の身分を取り消すことがあります。

---

## VII. 確定申告、納税

GRM奨励金を受給した学生は、原則として所得税の確定申告が必要となります。GRM奨励金の申告において、雑所得の金額は1年間（1月1日～12月31日）に支給された本奨励金の金額から、入学金や授業料などの研究活動に要した費用を必要経費として控除した残額となりますので、収支状況の記録や書類を必ず保存しておいてください。

研究に要した費用について、必要経費として認められるかどうかは、最終的に税務署が判断します。

---

## VIII. 活動経費支援

GRMプログラムでは、文部科学省の支援を受けて、GRMプログラムの履修を認められた学生に支援をしております。

一部の例外を除いて、GRM科目コード（GRM履修要項の開講科目一覧表に明記されている科目コード）で科目登録することが必要で、他研究科の開講科目と合同で行われる科目であってもGRM科目コードで登録履修しない場合は支援の対象外です。

# 同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラム 「グローバル・リソース・マネジメント」履修生特別奨励金規程

2013年1月26日

制定

改正 2015年3月20日

2017年3月10日

(目的)

第1条 本学は、文部科学省博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」(以下「グローバル・リソース・マネジメント」という。)を履修する本学大学院博士課程前期課程及び博士課程後期課程の学生に対して、キャリア形成を支援するために、文部科学省博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」履修生特別奨励金(以下「奨励金」という。)を給付する。

(給付対象者)

第2条 「グローバル・リソース・マネジメント」を履修し、次の各号のいずれかに該当する者を奨励金の給付対象者とする。

(1) グローバル・リソース・マネジメントのプレミナリー試験(以下「P E」という。)に合格し、博士学位取得及びグローバル・リソース・マネジメントの修了を目指す者

(2) グローバル・リソース・マネジメントのクオリファイング試験(以下「Q E」という。)に合格し、博士学位取得及びグローバル・リソース・マネジメントの修了を目指す者

2 給付対象者は、グローバル・リソース・マネジメント奨励生(以下「奨励生」という。)として奨励金の給付を受けるためには、奨励金給付に係る誓約書を学長に提出しなければならない。

(給付額)

第3条 奨励金の額は、P E合格者については月額15万円、Q E合格者については月額20万円とする。

(給付期間)

第4条 奨励金の給付期間は、次のとおりとする。

(1) P E合格者については、博士課程前期課程に在学する期間のうち、1年間以内に限る。

(2) Q E合格者については、博士課程後期課程に在学する1年次から3年次の3年間とし、標準修業年限を越えて在学する者には給付しない。

(3) 休学期間は、奨励金の給付を休止し、給付期間に算入しない。

(4) 再入学生には奨励金を給付しない。

(採用)

第5条 奨励生の採用は、同志社大学大学院「グローバル・リソース・マネジメント」プログラム委員会(以下「委員会」という。)及び所属研究科の推薦のある者につき、研究科長会の審議を経て、学長が決定する。

(継続審査)

第6条 継続審査は、次のとおりとする。

- (1) 委員会及び所属研究科は、継続給付の可否を的確に審査する。
  - (2) 履修計画の進捗等を毎年度評価し、著しく遅れている場合、あるいは奨励金給付にふさわしくないと判断した場合は、奨励金の給付を停止する。奨励金の停止措置を受けた者には、再給付は行わない。
  - (3) 研究科長は、審査結果を研究科長会で報告し、学長の下承を得るものとする。
- (義務)

第7条 奨励生には、原則として、奨励金の返還その他の義務を課さない。ただし、奨学生が同志社大学学生の懲戒に関する規程により懲戒の処分を受けた場合には、認定を取消し、奨励金の全額又は一部を返還させることがある。

(併給)

第8条 奨励金は、別に定めるその他の奨学金等との併給はできない。

(事務)

第9条 この規程に関する事務は、学生支援センター学生生活課及び高等研究教育機構高等研究教育課の所管とする。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、研究科長会及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、2017年4月1日から施行する。

# 同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」履修生特別奨励金採用・継続基準

2012 年 12 月 13 日 制定

2013 年 5 月 23 日 改正

2017 年 4 月 19 日 改正

この基準は同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」履修生特別奨励金規程に基づいて、同奨励金の採用基準及び採用方法等について定めたものである。

## I 奨励生の採用人数

奨励生数は博士課程前期課程・後期課程合わせて60名程度とする。

## II 給付対象基準

学修意欲があり、博士課程前期課程入学から5年間のうちに博士学位取得及び同志社大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」（以下「グローバル・リソース・マネジメント」という。）の修了を目指す者のうち、下記に該当する者。なお、再入学生については、給付の対象としない。

### 1. 試験

#### （1）博士課程前期課程（2年次生採用）

博士課程前期課程の第2セメスターまたは第3セメスターの終了までにグローバル・リソース・マネジメントのプレリミナリー試験（以下「PE」という。）に合格すること。

#### （2）博士課程後期課程（1年次生採用）

博士課程後期課程入学までにグローバル・リソース・マネジメントのクオリファイング試験（以下「QE」という。）に合格すること。

### 2. 誓約書

奨励金給付にかかる誓約書の提出ができる者

（誓約内容に「アルバイトを含む就業の禁止（ただしTA、RA及び留学生学習・研究支援チューター活動の対価としての報酬については、当該活動が「グローバル・リソース・マネジメント」プログラムの実施に不可欠な場合に限り、週当たり総時間数5時間まで受給可能）」を含む）

### Ⅲ 採用方法

1. 同志社大学「グローバル・リソース・マネジメント」プログラム委員会（以下「委員会」という。）  
委員会は、P E 及びQ E を実施し、合格者について学生が所属する研究科へ奨励金給付対象者として推薦する。
2. 学生の所属する研究科  
1. の推薦を受けた研究科は、上記給付対象基準に適合する学生であることを確認し、奨励生候補者として研究科長会に推薦する。
3. 研究科長会  
研究科長会は、委員会及び所属研究科の推薦のある者につき、採用について審議する。

### Ⅳ 継続給付

奨励金給付を継続するにあたっては、奨励生の学習・研究計画について、以下の点を委員会及び学生の所属研究科において審査し、その結果を研究科長会に報告したうえで、学長の了承を得るものとする。

1. 学習・研究計画の進捗  
学習・研究計画の進捗等を毎年度評価し、著しく遅れている場合等について、奨励金の給付を停止する。
2. 学習・研究計画の内容  
学習・研究計画の内容が奨励金給付にふさわしくないと判断した場合等について、奨励金の給付を停止する。  
なお、奨励金の停止措置を受けた者には、次年度以降再給付は行わない。

### Ⅴ その他

この奨励金は、次の奨学金等との併給はできない。

- (1) 日本学術振興会特別研究員（D C）の研究奨励金及び研究費
- (2) 日本学生支援機構貸与奨学金
- (3) 外国人留学生の日本政府（文部科学省）奨学金または日本学術振興会の学習奨励金
- (4) 外国政府関係機関からの奨学金
- (5) 同志社大学大学院奨学金及び同志社大学大学院特別奨学金
- (6) 専念義務が生じるその他奨学金、奨励金

なお、授業料援助が目的の以下の奨学金については、併給を許可する。

- (1) 同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成奨学金
- (2) 同志社大学大学院私費外国人留学生授業料減免特別奨学金
- (3) 同志社大学私費外国人留学生授業料減免奨学金
- (4) 同志社大学私費外国人留学生成績優秀者授業料減免奨学金

以 上

## 【学生窓口】

今出川校地	京田辺校地
グローバル・スタディーズ研究科事務室 (志高館) [TEL] 075-251-3930 [E-mail] ji-gs@mail.doshisha.ac.jp	理工学研究科事務室 (理化学館) [TEL] 0774-65-6200 [E-mail] jt-koujm@mail.doshisha.ac.jp

## 【問合せ・連絡先】

同志社大学) 高等研究教育課〔博士課程教育リーディングプログラム事務局〕

(今出川校地 寧静館 1F)

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

[TEL] 075-251-3259 / [FAX] 075-251-3152

[E-mail] ji-grmld@mail.doshisha.ac.jp

[WEB] <http://gm.doshisha.ac.jp>

